

子どもが正式な警告を受けた場合に知っておくべきこと 保護者向け情報

問題行動に対する正式な警告とは

問題行動とは、本人または他人に危害や危険を及ぼす可能性がある、あるいは危害や危険を加えた行為を意味します。正式な警告は、児童・生徒の行動が本人および他人に危害や危険を加える可能性があったり、学習に許容できないリスクがもたらされたりすることを通知するものです。保護者の方とお子さんにそのような行動を改善する必要があると知らせるのが目的です。

正式な警告は、お子さんの問題行動が記録された旨を述べる書状で、今回お子さんが停学処分を受けるわけではありません。

自分の子どもが正式な警告を受けると どうなりますか

学校は、問題行動について話し合い、お子さんへの正式な警告について説明します。学校長は正式な警告文書の写しもお渡しします。

正式な警告は、保護者とお子さんに自分の行動の影響を理解していただく時間を与え、前向きな行動支援対策に従事する支援計画への同意を得ることを目的とします。学校は保護者の方とお子さんが問題行動について話し合い、お子さんが必要としているサポートを検討、計画するために面談の機会を設けます。

保護者の方は、学校との面談に[サポートを提供する支援者](#)も同席していただけます。

正式な警告は50日間（授業日）まで有効です。この間に再び問題行動が見られた場合、またはその他の問題行動が見られた場合、お子さんは停学処分となる可能性があります。

子どもが正式な警告を受けた場合、どうすれば よいですか

ほとんどすべての子どもには、学校の規則あるいは[児童・生徒の行動規範](#)を守らないことがあるものです。そのような場合には、学校から正式な警告が渡される場合があります。[子どもが学校で問題を起こしたらどう対処するか](#)については、リンク先のウェブサイトより詳しい情報をご覧ください。

お子さんが正式な警告を受け取った場合、それはお子さんの行動に注意または対処すべき問題があったということを意味します。保護者の方々による学校へのご協力は、お子さんの問題行動への対処および解決策の検討に大変重要です。ぜひ今回の正式な警告書に関して学校長までご相談になり、学校のサポートチームとともに、適切な解決先の検討にご協力いただければ幸いに存じます。

もし再び問題行動が起きた場合はどうなりますか

最初の正式な警告が発行されて50日以内に問題行動が再び起きた場合は、学校長がお子さんを停学処分にする可能性があります。ただし、学校長が当該の行動およびお子さんと他の子どもの個々のニーズを検討するまでは、お子さんの停学処分は決定しません。[児童・生徒の停学処分](#)に関する詳細は、リンク先のウェブサイトよりご覧いただけます。

なおかつ懸念がある場合はどうすれば よいですか

学校におけるお子さんの学習、行動あるいはウェルビーイングについて懸念がおありの場合は、まず教師、教頭あるいは副校長に相談することをお勧めします。ほとんどの問題は、お子さんおよび状況を理解している人々に話すことによって解決できます。

誰か別の人に話す必要がある場合があります。力になれる可能性のある地域の教育事務所がありますので、その連絡先については、お子さんの学校にお問い合わせください。また、懸念に医学的な理由があると思われる場合は、お子さんのかかりつけ医に相談することもお考えください。

[子どもの擁護](#)に関する情報および学校とコミュニケーションを図る方法を説明した[学校コミュニティ憲章](#)もご利用いただけます。

学校から得られる情報

保護者の方は、処分の背景や事実関係、およびその理由について学校に詳細な情報の提供を求めることができます。何か問題があると考えられる場合、学校は決定の根拠や今後起こりうる措置、またはとるべき行動について説明する必要があります。

電話通訳サービス

学校にお問合せをご希望で通訳を希望される方は、電話通訳サービス（TEL: 131 450）をご利用ください。オペレーターが出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、学校の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。